



出水期に向けて市内13箇所に配備 地域で作る土のうステーション

出水期に向けて、市内各地域のコミュニティ・センターや消防団格納庫などに、地域住民が自ら土のうを作成し、緊急時に使用できる土のうステーションを配備します。

令和7年8月の大雨では、市民から土のうを必要とする相談が相次ぎ、災害対策本部が計200個以上の土のうを緊急的に配布しました。

防災士や消防団の支援を受けながら、地域住民が主体となって土のうを備える体制を整え、各家庭での浸水対策につなげます。



《南郷地区で実施した作成の様子》



《土のうステーション》



【土のうステーション 概要】

日 時：5月以降

場 所：市内各地域のコミュニティ・センター、消防団格納庫など 計13箇所

内 容：・各地域に土のうステーションを設置

・防災士や消防団が支援し、地域住民が土のう100個を作成

・大雨時や土砂災害時の緊急的な浸水対策として活用

【直近の土のう作成予定地区】

自由ヶ丘地区

日 時：5月30日(土)17:00~

場 所：消防団第4分団格納庫
(宗像市自由ヶ丘8丁目1-5)

参加者：地域住民、消防団、防災士

赤間西地区

日 時：6月28日(日)10:00~

場 所：赤間西地区コミュニティ・センター
(宗像市三郎丸5丁目2-24)

参加者：地域住民、中学生、防災士

【補足】

土のうの準備など浸水への備えは原則として各家庭で行うものですが、緊急時に地域で活用できる体制を整えるため、各地域に土のうステーションを設置します。市では、6月6日(土)開催の地域防災研修で防災士向けの土のう作成訓練を実施するほか、令和8年1月から浸水対策補助金を開始し、各家庭での備えも後押ししています。自助・共助の両面から浸水対策を進め、災害時の迅速な対応につなげます。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市危機管理課 担当：森 TEL：0940-36 5050